

令和 5 年度学校評価報告書

令和 6 年 3 月 2 5 日

北海道教育委員会教育長 様

北海道千歳高等学校長 金 山 泰 幸 

次のとおり令和 5 年度の学校評価について報告します。

【全日制】

1 本年度の重点目標

1 豊かな感性を育み、多様性を尊重する態度を養う。
2 自ら学び、探究し、適切に表現できる能力を伸ばす。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	生徒の実態を踏まえた教育課程を編成・実施し、ＩＣＴの積極的な利活用及び生徒の学力・能力を伸ばすための主体的な学びを推進する授業改善に取り組んでいる。	学習指導における「自己評価」はほぼ適切である。今後もＩＣＴの活用、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を推進し、自主的・自律的に学びを深め、国際化も視野に入れながら更なる学力向上を図って欲しい。
改善方策	学科の特色と地域の教育資源を活用し、知識・技能を高め、思考力・判断力・表現力の構築のため主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に一層取り組み、ＩＣＴの積極的な利活用と伴に個別最適な学びと協働的な学びを実現し観点別評価の工夫と充実を図るとともに、国際教育に力を注ぎ、生徒の学力向上を目指す。	
生徒指導	家庭と学校が密に連携をとり思いやりの心や多様性を尊重する態度を身に付けることができた。スマートフォンやインターネット利用に関する指導等、人権教育・道徳教育の推進、生徒の心のサインを見逃さない積極的な生徒指導等により、豊かな感性や自己肯定感を育成することができた。	生徒指導についての「自己評価」はほぼ適切である。生徒指導は継続性が重要であるので引き続き、思いやる知性と感性を育み公共心を高めるを教育を推進し、コミュニケーション能力を身につけ地域と連携し、地域の発展に貢献できる人材育成を行ってほしい。
改善方策	相手の気持ちを考え、生徒同士が信頼し合い、教師が信頼され、いじめやトラブルのない学校作りのため道徳教育や人権教育を充実させるとともに、生徒が生き生きとした「地域とともにある」教育活動を推進していく。	
進路指導	生徒が自己の適性を理解し社会的・職業的自立に向けた資質・能力を育み、具体的な進路目標を持たせ、進路選択をさせることができた。進路実現に向けて必要な能力を組織的に育成することができた。今後は更なる高みを目指す進路指導の充実が必要であると分析している。	進路指導についての「自己評価」はほぼ適切である。進路実績は保護者・地域の期待に応えている。より一層の実績を積み上げて地域に貢献できる人材育成を目指してほしい。
改善方策	個々に応じ 3 年間を見通したキャリア教育を推進し、複数学科の特性・長所・適性を見出し、志を高く持った将来への目標・展望を持たせる進路指導の充実を図る。	
健康安全指導	健康安全教育といじめ防止に向けた取組により、自他を思いやる心の育成ができた。ＳＣの活用等、カウンセリングマインドを持ち教育相談体制の充実を図った。	健康安全指導についての「自己評価」はほぼ適切である。より一層、健康安全教育の推進と教育相談等による「こころ」の教育を進めてほしい。
改善方策	更なる教育相談体制の充実に努め、コミュニケーションやケア、特に傾聴を大切にしたい人間関係の構築を目指し、全教職員による情報の共有し、安心・安全な学校教育の充実に努め、心身ともに健康な人材育成を行う。	
信頼される学校づくり	P T A 等の活動を通じて保護者・地域との連携を深めることができた。各種通信やwebページを通じて地域や家庭への積極的な情報発信ができた。	保護者、地域との連携を深めることができています。保護者、地域の期待に応えるより一層の教育活動の充実を図ってほしい。
改善方策	地域とともにある学校および保護者や地域に信頼される学校であるために、より一層H P の工夫・改善や効果的な中学校訪問・学校説明会等を通じて本校の「良さ」「強み」を家庭・地域にP R する。	
教職員の資質向上	校内外の研修を通じて（対面・オンライン）教育活動の質の向上を図ることができた。全教職員が教育公務員としての自覚を持ち、教育活動の充実と不祥事防止に努めた。	教職員の資質向上の「自己評価」はほぼ適切である。
改善方策	当事者意識を持ち相互牽制による服務規律の遵守を徹底し教育公務員としての自覚を一層高める。組織的な対応を心掛け、教えるプロとしての資質・能力の向上を目指す。	

公表方法	学校ホームページ
------	----------

3 添付資料

- (1) 令和 5 年度学校評価 自己評価（全日制） 1 部
(2) 令和 5 年度学校評価 学校関係者（学校評議員）評価 1 部

令和5年度 全日制 自己評価の項目と学校関係者評価

項目		評 価 項 目	R4年度末	R4年度末	R5年度末
教育目標・組織運営等	1	学校教育目標や重点目標を学校全体で共有することができている。	3.80	4.79	3.98
	2	分掌・学年・学科及び教職員間の報告・連絡・相談を十分に行うことができている。	3.82	4.73	3.98
	3	災害・非常時に備えた体制の整備、生徒の安全を守るための事前対策や再発防止に向けた取組ができている。	3.87	4.76	4.21
	4	国際交流を推進することができている。（海外学校との交流、国際理解の集い等）	3.84	4.73	4.45
学習指導・教育課程等	5	生徒の学力・能力を伸ばすために授業改善に取り組み、新学習指導要領に向けた研修に取り組むことができた。	3.90	4.70	3.95
	6	生徒の実態をふまえた教育課程（授業、特別活動、総合的な学習時間等）の編成・実施ができている。	3.66	4.74	3.59
生徒指導・健康安全教育等	7	生徒会活動や特別活動、部活動を通じ、生徒の自立・実践の精神を養うことができている。	3.92	4.79	4.05
	8	健康安全教育といじめ防止に向けた取組を推進し、他者と自分を思いやる心を育てることができている。	3.98	4.96	3.90
	9	頭髮・服装などの指導を十分に行うことができている。	4.05	4.78	3.85
	10	公共マナーや交通安全マナーの指導や、道徳教育を効果的に行うことができている。	3.87	4.75	3.92
	11	スマートホンやインターネット利用に関する指導を十分行うことができている。	3.69	4.65	3.69
	12	生徒の防災に対する意識や心構えを持たせるよう、避難訓練などの防災安全指導を効果的に行うことができている。	3.38	4.47	4.03
	13	カウンセリングマインドを持って、面談・相談活動を十分に行うことができている。	4.05	4.83	4.22
キャリア教育・進路指導等	14	生徒が自己の適性を理解して進路目標を持ち、進路選択させることができている。	3.82	4.36	3.75
	15	生徒が進路実現するのに必要な能力(自主・自律性、計画性、基礎学力)を、身に付けさせることができている。	3.75	4.49	3.72
	16	生徒の進路目標が効果的に実現できるよう、教職員・保護者・分掌が連携することができている。	3.79	4.53	3.70
地域・保護者連携 情報提供等	17	保護者や地域住民の要望等を把握し、連携・協力を十分に図ることができた。（PTA役員会、総会、学校評議員会議、地元企業等）	3.57	4.56	3.72
	18	各種通信やWebページを通じて、学校から地域や家庭への積極的な情報発信を行うことができている。	3.73	4.74	3.84
	19	父母と先生の会・全日制教育振興会・同窓会と連携し、活発な教育活動を行うことができている。	3.52	4.54	4.00
職員の資質向上等	20	校内外の研修を通じて、教科指導や生徒指導などの教育活動の質の向上を目指すことができている。	3.57	4.75	3.90
	21	全教職員が教育公務員としての自覚を持ち、教育活動の充実、不祥事防止に努めた。	4.15	4.84	4.28
教育環境整備等	22	情報資産（ハードウェア、ソフトウェア）の管理を適切に行い、円滑に校務に活用できている。	3.90	4.41	3.95
	23	校務支援システム・教務支援システムを有効利用できている。	4.05	4.72	4.18
	24	学校施設設備の管理、点検、補修等を適切に行うことができている。	4.20	4.79	4.13
			3.83	4.68	3.96

コロナ対策	25	新型コロナウイルス感染症の予防指導ができている（体調管理、検温、手洗い、咳エチケット、換気、新型コロナウイルス感染症についての差別や偏見のない行動指導等）	4.12	4.90	4.08
	26	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、効果的な教育課程の見直しができている（時間割編成の工夫、学校行事の重点化等）	3.69	4.59	3.70
その他	27	GIGAスクール構想への取組が組織的に行われている	3.70	4.48	3.84

令和5年度 学校関係者評価 集計結果（全日制）

A→適切である B→適切とは思わない

項目		評 価 項 目	回答		自己評価 (R 5年度末)
			A	B	
教育目標・組織運営等	1	学校教育目標や重点目標を学校全体で共有することができている。	13	0	3.98
	2	分掌・学年・学科及び教職員間の報告・連絡・相談を十分に行うことができている。	13	0	3.98
	3	災害・非常時に備えた体制の整備、生徒の安全を守るための事前対策や再発防止に向けた取組ができている。	13	0	4.21
	4	国際交流を推進することができている。（海外学校との交流、国際理解の集い等）	13	0	4.45
学習指導・教育課程等	5	生徒の学力・能力を伸ばすために授業改善に取り組み、新学習指導要領に向けた研修に取り組むことができた。	13	0	3.95
	6	生徒の実態をふまえた教育課程（授業、特別活動、総合的な学習時間等）の編成・実施ができている。	13	0	3.59
生徒指導・健康安全 教育等	7	生徒会活動や特別活動、部活動を通じ、生徒の自立・実践の精神を養うことができている。	13	0	4.05
	8	健康安全教育といじめ防止に向けた取組を推進し、他者と自分を思いやる心を育てることができている。	13	0	3.90
	9	頭髮・服装などの指導を十分に行うことができている。	13	0	3.85
	10	公共マナーや交通安全マナーの指導や、道徳教育を効果的に行うことができている。	13	0	3.92
	11	スマートホンやインターネット利用に関する指導を十分行うことができている。	13	0	3.69
	12	生徒の防災に対する意識や心構えを持たせるよう、避難訓練などの防災安全指導を効果的に行うことができている。	13	0	4.03
	13	カウンセリングマインドを持って、面談・相談活動を十分に行うことができている。	13	0	4.22
キャリア教育・進路指導等	14	生徒が自己の適性を理解して進路目標を持ち、進路選択させることができている。	13	0	3.75
	15	生徒が進路実現するのに必要な能力(自主・自律性、計画性、基礎学力)を、身に付けさせることができている。	13	0	3.72
	16	生徒の進路目標が効果的に実現できるよう、教職員・保護者・分掌が連携することができている。	13	0	3.70
地域・保護者 連携 情報提供等	17	保護者や地域住民の要望等を把握し、連携・協力を十分に図ることができた。（PTA役員会、総会、学校評議員会議、地元企業等）	13	0	3.72
	18	各種通信やWebページを通じて、学校から地域や家庭への積極的な情報発信を行うことができている。	13	0	3.84
	19	父母と先生の会・全日制教育振興会・同窓会と連携し、活発な教育活動を行うことができている。	13	0	4.00
職員の資質 向上等	20	校内外の研修を通じて、教科指導や生徒指導などの教育活動の質の向上を目指すことができている。	13	0	3.90
	21	全教職員が教育公務員としての自覚を持ち、教育活動の充実、不祥事防止に努めた。	13	0	4.28
教育環境 整備等	22	情報資産（ハードウェア、ソフトウェア）の管理を適切に行い、円滑に校務に活用できている。	13	0	3.95
	23	校務支援システム・教務支援システムを有効利用できている。	13	0	4.18
	24	学校施設設備の管理、点検、補修等を適切に行うことができている。	13	0	4.13
			平均の平均		3.96

コロナ対策	25	新型コロナウイルス感染症の予防指導ができている（体調管理、検温、手洗い、咳エチケット、換気、コロナウイルス感染症についての差別や偏見のない行動指導等）	13	0	4.08
	26	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、効果的な教育課程の見直しができている（時間割編成の工夫、学校行事の重点化等）	13	0	3.70
その他	27	GiGAスクール構想への取組が組織的に行われている	13	0	3.84